



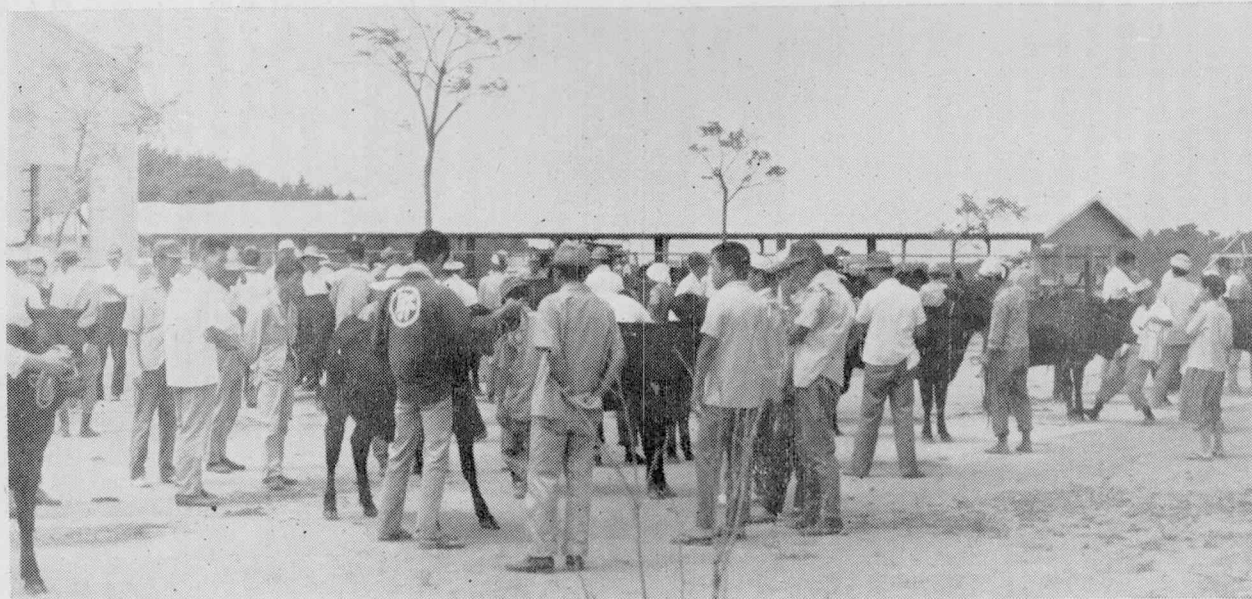
大根占校區が優勝

ことしの畜産品評会

昭和44年9月20日 No. 198

編集と 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
発行 企画室 企画係
(電話 大根占局 2-0511-0515)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 2-0140)

町の 昭和44年8月1日 現在推計人口
人口 男 5,252人 計 11,360人
女 6,108人
前月より 13人 減



またも 大根占校區が優勝

ことしの畜産品評会

四十四年度の総合畜産品評会は、九月八日花ノ木の家畜市場で開かれました。

当日は、各校区の品評会で選出された牛、四十九頭肥育牛七頭、計五十六頭が出場しました。昨年より四十一頭の減になっていますが、これも最近の相場不振が大きく影響しているものと思われ、審査員の方々がひとしく口にされたことは、大根占の牛は非常にすぐれて粒が揃っているが、惜しいかな出場頭数が少ない。この不振な時期にふみとどまてこそ将来に希望がもてるんだと、しきりに申されていました。

審査の結果を総合しましたところ、校區別では大根占校區が優勝、以下神川、池田、宿利原の順で、個人別の成績は次のとおりです。

(○印は郡の共進会に出場)

◎一部

一等 ○中俣道夫、○大園友二、○木下虎二

二等 大園栄之助、馬込勇雄、永田喜好、全人

三等 上原清香

◎二部

一等 ○宮園直矢、○飯屋ミチエ、○田中一、赤石堅二

二等 馬込澄男、前野勇、馬込広志

三等 大園鶴、馬込勇雄

◎三部

一等 ○岩下ヒデ、○福岡虎夫、○牧原幸夫、○木下登

○川越勝次、岩下利夫、小田清兵衛

二等 中園義則、中園繁雄

前園利明、馬込国夫、堀之内九二郎、大久保栄、有村哲己

三等 榎本利夫、岩留吉吉



中村昭雄、木村辰次、上吹越利行、笹原己邦

◎四部

一等 ○水口正助、○貴島正清、○水流豊文、前園辰男

前迫正隆

二等 牧原ヤエ、森満茂、生見武志

◎生産

一等 西北吉左衛門、上吹越重行

◎肥育

一等 中迫虎吉(二頭)

二等 中園義則、宮下好則

中迫シヅ子

三等 宮下鉄夫、落司英一

いつまでもお元気で

九月十五日は「敬老の日」です。

お年寄りのかたがたが、長い期間にわたって家族のためにあるいは社会のために御苦労なさったことに対して、国民がこぞって敬愛の気持ちで感謝申し上げる日です。

本町でも、四十三年度から八十八才以上の高令者には毎年敬老金をさしあげています

が、このことも金額は僅かではありますが、町の行政上から敬愛の意思表示にほかなりません。

ことしも、例年のように九十才以上の高令者には、県知事賞状をさしあげます。

その氏名は次のとおり)

中野甚計 97才 段中野

田中トヨ 96才 弓場下

神川スギ 92才 鳥浜

牛飼ツルカメ 92才 皆倉

福元助次郎 91才 神川上

岩崎アグリ 91才 神川上

川原力子 91才 桜原

外山オト 90才 木場

吉井シナ 90才 旭町

(続次号)

町民体育大会に参加しよう

町民歌・町章の発表も

町民体育大会が十月十日、「体育の日」に開催されます。昨年は都合によって開かれなかったもので、久しぶりに町民こぞって交歓の場が設けられることになりました。

この大会は、町民がいか所集ってスポーツ・レクリエーションを通じてお互いの親睦を深め、スポーツを普及し健康を増進して本町生活文化の向上に寄与しよう、というのが目的で、町をあげて一大行事でありますから、町内各地から一人でも多くの人々に参加していただいて、一日を愉快に楽しく過ごしていただくと思います。

その手始めとして、第一回の運営委員会を九月十一日、中央公民館で開き、大会の実施要領、プログラムなどについて話合っていたいただきましたが、今後を重ねることによって、さらに充実した大会にもっていくよう関係者一同大いに張り切っています。

大会当日は、競技にさきだつてこのたび制定しました町章と町民歌の制定式を行ないますので、いやがうえにも大会を盛り上げることでしよう。

池田・宿利原・神川方面には往復ともバスを運行いたしますので、町民多数の参加を希望しています。

伸びゆく農村は 農業資金の結集から

△明るい農業経営は、まず貯蓄から
ここ二三年、千害・塩害、そしてことしは豪雨禍・台風九号と災害がつづいており、心からお見舞い申し上げます。
農業情勢は、米価問題も含めて次第に難かしくなり、国では総合農政を肉づけしようと考えています。農家は自らの力で自らの農業を守るための努力をせねばなりません。
経営規模の拡大や将来不安をもたない農業経営への転換には必然的に資金が必要です。その資金は、皆さんの貯金の蓄積によって得られるのです。ことしも災害を乗り越えて農業資金結集運動にこそってご参加ください。
△貯金で農業の近代化は進められます
みなさんの農業経営を近代化するため、農協では貯金で集めたお金を国や県・市・町村の利子補給で年五分以内の非常に安い金利で貸出しています。
農業を近代化するために、県内の農協から貸出された金額は六月末で五九六億八千万円になります。ほかに政府資金が一七五億六千万円であります。
農業の近代化は、ほんの始まりで、これからまだまだたくさんのお金が必要です。そのためには、みなさんの貯金は是非必要です。
農業近代化のため、ぜひあなたの協力をお願いします。

対抗競技でハッスル

消防記念行事から

町の消防団が、自治体消防に移管されたのが昭和二十二年の八月一日で、この日を記念して毎年いろいろな行事を行っています。
ことしは、ちょうどその時期が早期水陸稲の刈入れ収穫と重なるので、一か月ずらして九月一日に記念行事を行いました。
当日は団員全員が参加して新しく分団員を地域ごとに編成した班の編成訓練のあと、放水演習、分団対抗の操法競技・ホース結合競技・ソフトボール競技など、規律ある行

台風九号の つめあと

台風九号は、八月二十一日から翌二十二日にかけて吹上町に上陸し、鹿児島県を横断して日南方面へ脱出しました。この台風は方向が一定せず速度がおそかったため、風速に反して意外とあちこちに被害を与えたようです。
当町でも二十二日の朝から風が強くなり、お昼ごろにはどうやらおさまりましたが、住家や農作物などにかなりの被害が見られ、午後になってから職員が手わけして調査した結果、被害状況は次のとおりでした。
役場としても、関係機関と連絡をとって復旧の手だてを講じながらも、被災者の方々が一日も早く従前の姿に復されるよう願ってやみません。

△自動車ポンプ操法競技
一位 中央分団、二位 神川分団、三位 池田分団
△小型ポンプ操法競技
一位 宿利原分団、二位 中央分団、三位 神川分団、四位 池田分団
△ホース結合競技
一位 池田分団、二位 中央分団、三位 宿利原分団、四位 神川分団
△ソフトボール競技
一位 神川分団、二位 中央分団、三位 宿利原分団

台風第9号				災害報告				単位千円			
被害区分	棟数	世帯数	人員	損害額	被害区分	棟数	世帯数	人員	損害額	被害区分	棟数
住家の被害	全壊	3	3	15	800	公建被	一部破損	11	915	棟	数
	半壊	24	24	83	3,075	共被害	合計	11	915	棟	数
	一部破損	66	66	208	1,132	総損害額			10,164		
	床下浸水	5	5	30	25	農作物			68,741		
	合計	98	98	336	5,032	農業用施設(8ヶ所)			500		
非住家の被害	全壊	20	—	—	1,600	町道路面復旧			3,000		
	半壊	26	—	—	1,495	漁船転覆(1隻)			50		
	一部破損	84	—	—	1,122	小破(4ヶ所)			55		
	合計	130	—	—	4,217						



良さをはじめて知った

大根占の茶

大根占で生産される茶は、町内向けを除いて多くが経済連を通して出荷されていましたが、その良さはあまり知られておりません。
広い畑地をもち、気候は温暖で、適度な湿度もあって、霧の状態もよく、茶の生育に適した条件にありながら、市況が余りよくなかった、生産量が少なかった、PRの不足などもあって、今日まで茶栽培に力を入れてこなかった。今、大根占の茶の良さを広げよう。
大根占の茶は、地味な味、しかしながら、地域の特性を生かしたクレモナを利用した緑茶の早出しが普及されるに従い、先行きが明るくなっている。
さらにこれを助長するかのよう、この大根占の茶が、経済連を通して出荷された茶が、中央の茶問屋で認められるところとなり、次のようなパンフレットで全国的に紹介されることになりました。
今後は大根占のよい茶を、全国の人に一人でも多く飲んでもらうために、面積を拡大して質のよいものを、たくさん生産してまいりましょう。
たばこは町内の店で買います。
たばこ消費税は、町の大きな財源になります。ですから、町内でも買ってください。よその町で買うことはありません。旅行するときもちろんです。



●林美子の文学碑
大根占町に、作家林美子の文学碑が建てられました。林美子は、大根占町で生まれ、大根占町で育ち、大根占町で死んだ。大根占町は、林美子の文学の故郷です。

鹿児島県大隅半島の中部に、西は鹿児島湾（錦江湾）に面する町大根占町に産する茶が、今回の領布茶です。観光地として有名な佐多岬、ロケット基地としてクローズアップされた内之浦町には、いずれもバスで3時間で隣接する地です。
大根占の茶葉の歴史はあきく、戦後派にぞくしています。昭和26年頃から、防災を主目的として、畦畔茶園の新植が行なわれるようになったのがはじまりです。現在、緑茶40ヘクタール、紅茶5ヘクタール程度が栽培されています。
大根占の土質は、シラス地帯特有の吸水性が弱い火山灰黒色土が主で、土砂の流出性も強く、必ずしもめぐまれています。しかし、同町の新農村建設事業の一環として、茶葉にたいする熱意は高く、優良品種を中心に、これから5年間で新たに80〜100ヘクタールの新植をめざし、着実な歩みを進めています。
「おいしい、台風の常襲地帯である」ということをのぞけば、気候は温暖（平均気温18.5度）であり、降雨量も2,000〜2,500ミリと多いため、茶樹の発育がよいので、早出し緑茶を中心に、今後が期待されます。
大根占の茶の特質は、九州男児・薩摩隼人をしのばせる豪快さにあります。オゾンにはぐくまれ、ミネラルを多量にふくむ茶葉は、味・香りとともに強く、「茶は南方のよき木なり」といふことばがふさわしいでしょう。日本の緑茶のなかでは、ユニークな茶のひとつにあげることができます。 鹿児島連誌

かみ茶の姉妹品
梅こい茶
ご好評をいただきました「梅こい茶」にひきつづき、「梅こい茶」を発売いたしました。
いままでの「かみ茶」は、「梅こい茶」をブレンドした新製品です。ビタミンC、クエン酸が加味されたさわやかな味と香りが特徴です。サンプルを同封しましたので、ご試飲のうえ、ご用命ください。
●熱湯を注ぎだして、おいしい「梅こい茶」ができます。1袋で5人分です。
●お茶漬にされても、なかなか美味です。食欲不振のときには、とくに効果的です。夏まけ防止に、お役立てください。
6袋入り 100円

大根占の茶
鹿児島県肝属郡大根占町

町村交通災害共済へ加入しよう

一日一円であなたを守る

このごろは、まさに、「交通地獄」といわれるように毎日交通事故が発生し、その数は年々ふえております。

この制度のあらまし

※交通事故災害

日本国内で汽車、電車、モノレール、航空機、船舶、トラリーバス、自動車、原付自転車、自転車、荷車などの交通により、事故が起こり、死亡したり、けがをしたりすること。

※加入者資格

県下町村に住所を有する人で、住民基本台帳に記録または外国人登録されている人。

※共済掛金

一人 年額 三百六十円
ただし、四十四年度は一人 百八十円

※共済期間

十月一日から四十五年三月

そこで県下八十二町村九十万の人々が、災害を受けたときお互いに助け合うため少額の掛金をして災害見舞金を出すという、共済組合をつくることにいたしました。

わたくしたちは、いつ、どこで、だれが、事故にあうかわかりません。そのときの用

三十一日まで半年間。ただし組合町村外から年度の途中で転住してきた人など特別の事情があって、十月二日以後に加入したときは、その受理された日時から残りの期間とする。

※災害見舞金

一級 死亡 五十万円
二級 六か月以上の傷害 十万円
三級 三か月以上六か月未満の傷害 五万円
四級 一か月以上三か月未満の傷害 二万円
五級 一週間以上一か月未満の傷害 五千元

ほかの保険に入っている、この見舞金は全額もらえます

※災害見舞金の請求

請求書に警察署長の事故証明または現認証明書、診断書（死亡したときは死亡診断書）または検案書、戸籍謄本などを添えて町村役場へ提出する。

※見舞金を支払わない場合

交通事故災害の原因が、加入者の自殺、故意、無免許運転、飲酒運転などによる場合

※問い合わせ

は、役場の総務課でお尋ねください。

※加入申し込み

九月一日から加入申し込みを受け付けます。役場では次の日程で現地に向いて受付いたしますので、交通災害共済のよさを十分おわかりいただいて、一人でも多くの人

歌会始のお題・詠進要領

がきまりました

一、昭和四十五年歌会始のお題は「花」と定められました

二、詠進歌の詠進要領

(一)詠進歌は、一人一首とし、未発表の歌であること。

(二)用紙は半紙を用い、毛筆で自書のこと。

(三)盲人、身障者は、点字で詠進してもよい。

(四)書式は、半紙を横に二つ折りにして、右半面にお題と歌

左半面に住所、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日及

職業（具体的に詳しく）を書くこと。（書式図参照）

（職業の書き方例示）

何業、何商、何会社員

何省何局何事務官

何小学校教諭

何学校何学年

主婦（夫は何銀行員など）

無職（元船員、元何学校長）

（注意事項）

詠進要領に反すると失格するので、詳しいことは役場企

画室へお問い合わせください

花

住所

職業

氏名

ふりがな

生年月日

町道の舗装を

年次的に

ことしから町道に舗装工事をとり入れました。

簡易舗装ではあります、多額の経費を要しますので、その道路の利用度・必要度・損耗度・そのほか総合的に判断して、年次的に順次改良していく計画です。

長期的な展望にたちますと路面補修・砂利散布に追い廻されるよりも可能な範囲内で

月日	前		後	
	部	落	部	落
9月17日(水)	松坂、毛下、笹原	川南	半下石	川南
	白井、安水、大久保	安水	厚ヶ瀬	厚ヶ瀬
	大尾、才原、岩元	大尾	笑喜上、下、落河	落河
9月18日(木)	協和、命呂	宿利原	宿利原、牧原	宿利原
	桜原、神川中原	桜原	皆倉	皆倉
9月20日(土)	神川中	お寺	神川新町	神川上
	神川城、鳥浜	鳥浜	神川城、鳥浜	神川上
9月22日(月)	中園、六反田	六反田	上之字部、宮脇	城元
	城ヶ崎	塩屋	塩屋	塩屋
9月24日(水)	瀬戸山、山添	瀬戸山	鳥井戸1、2、3区	鳥井戸
	大橋上、下	大橋	木場	木場
9月25日(木)	山ノ口、寺前	山ノ口	木原、中西	木原
	弓場下、神之浜1、2区、本町	役場会議室	篠、京町、栄町、旭町	役場会議室

時間 午前9～正午 午後1時30分～4時

場所 特定以外は部落公民館

畑作台地に

実えんどうを

本町の輸送園芸作物は、下場沿岸地帯を中心に「きぬぎやえんどう」が産地化されて市場でも名声を博しています。が、畑作台地に適当な園芸作物が、畑作台地に適当な園芸作物を重ねましたところ、市場性のある安定した「実えんどう」栽培を奨励することにいたしました。

台地農業は、現在たばこ、養蚕などが多く、ほ場や労力の上から、かち合う点があるかも知れませんが、農家所得を引き上げて不況から脱け出すためには、新しい作物を導入して所得を向上しなければなりません。

このような考えから、役場では農協と合同で推進座談会を地区ごとに開きますので、できるだけ多数の方々が出席されて、実えんどうの新しい主産地を育成するためにがんばっていただきたいと思いま

通話は簡単に

要領よく

最近、農村集団電話（略して農集電話）が、「いつかいても出ない・通じない」という苦情が役場にも来ますし、電報電話局にも持ち込まれるそうです。

このように電話の出るのがおそいのは、もちろん機械の故障ではありません。

お互いに利用される皆さんにもその責任があるのではないのでしょうか。

なぜかと申しますと、御承知のように農集電話は、一つの線に五～六戸がついていますので一人が話し中のときは他の人は利用できません。

したがって農集電話を取り付けたがたが全戸農家であり、利用される時間がほぼ同じ頃となつて必要ときに思うように利用できないということもあるのではないのでしょうか。

電話で相手に用件を話すときには「簡単に、わかりやすく要領よくまとめて」必要な用件だけを話するようにしてください。

役場としても、電報電話局には十分ご相談申し上げ、局とされても、常に安心して利用できる電話であるように心がけていただきますので、利用される皆さんがたの協力

を心からお願いたします。



季節の話題

暑い暑いとふたこと目には口ぐせになっていた暑さも、九月の声を聞くと、朝夕はめっきり涼しくなります。日足が短くなり、もう日暮れかと、秋の気配を感じさせます。いよいよ新涼を迎え、残暑の照り返しも空気中の湿度が少なくなつて、べたついた皮膚もさらさらして、快適な「日本の秋」が始まります。

台風 いちばん心配なのは台風です。例年、大型の台風が襲われるのは九月です。そこで、九月はまず一日の防災の日で幕が開けられます。この日は大正十二年の関東大震災を記念して、昭和三十五年、防災の日と定められました。また、この日は二百十日にもあたり、古くからこの日に台風が襲来し、開花前後の稲に大きな被害をうけ、農家のやく日となっています。

健康 とかく健康については、ふだん「ノイローゼか無関心のどちらか……」といわれているように、何か重大な病気がかからないかぎり、なかなかその気にならないものです。

夏のあいだ猛暑にあてられて食欲も失いがちでしたが、湿気が少なくなれば体温の発散もよくなり、したがって細胞の活動が盛んになりますから、勢いおなかもすいてくるわけですね。そこで「食欲の秋」だからといって食べすぎますと、胃腸をこわしたり、下痢をおこしやすくなります。

これは夏のあいだ冷たいものや、あっさりしたものばかり食べていてスタミナを失った内臓がまだ十分回復しないところへ、急に重労働をさせるようなものです。

また、もう一つの原因として、寝冷えからくることも多いようです。

どちらにしても、胃腸障害や下痢は、養生しだいで一日か二日で回復しますが、おそろしいのは、これからシーズン入りといわれる赤痢につながることで、赤痢菌はこのように弱った胃腸をねらって活動するので、簡単に腹痛だと片づけてしまつてはいけません。

衣・住 九月も十日すぎになると、そろそろ衣替えの用意です。さんざんごやっかいになった夏ものあとと仕末はつい忘れがちになります。もういらなくなった夏ぶとなど押入れの下敷きにしておかないで、早目に手入れしておきましよう。ついでにカーテンすだれ、扇風機のお掃除も忘れずに。

日中は、まだかなり暑い日もありますが、夜になると急に気温が下がります。夜になると、霧が発生して冷えこむことが多いのです。「夜道はからだの毒」ということばがありますが、とくに霧の出た夜は注意してください。さて、台風は九月はもうそろそろ、十月までは安心できましよう。台風でいちばんこわいのは家の倒壊です。それには、土台がしっかりしているかどうかよく調べてみることで、壁や窓がやぶれてそ

鹿児島

谷山の電話

声の合併

△十月一日から、鹿児島市谷山は市内通話になります。

△通話料金は、いままでの一分七円から一回七円となります。

△鹿児島市・谷山相互間の通話は市内局番からダイヤルしてください。

△谷山局の市外局番〇九九二九はなくなり、鹿児島局と同じ〇九九二となります。

△谷山局加入者の市内局番は六局から六十八局に変わります。(加入者番号はいま

こから風が吹きこむと、風圧で屋根がそっくりもぎとられてしまうことはよくあります。

農繁期に入る前にぜひ家の修理をすませておきたいものです。とくに台風に見舞われたかたがたは、出費が重なることでしょうが、修理箇所が

大きくならないうちに手入れしておくことをおすすめします。

食 朝夕の風が涼しくなると、サンマが食卓をにぎわせます。こちらでは、簡単に手に入らないのが残念です。

まだはしりて本格的な味がのってくるのはこれからですが、ちよつと塩をふって塩焼にしユズかレモンを絞り、大根おろしを添えれば「初秋の香り」がたつぷりたのしめます。

秋分の日 二十三日は「秋分の日」です。太陽の中心が秋分点にきたときのこと、この日は昼と夜の時間の長さがほぼ同じになります。

までどおり) △鹿児島市・谷山局以外の地域から、谷山局加入者へのダイヤル市外通話は

〇九九二 + 六八 + (市外局番) (市内局番) ××××

(加入者番号) とダイヤルしてください。

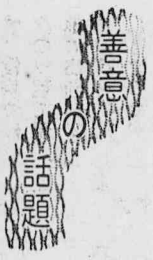
鹿屋税務署から

「お知らせ」

このたび災害を受けられた皆さまに、ついでにお見舞い申し上げます。

税務署では、災害を受けられた方々のために国税を軽くしたり、または免除したり、あるいは納税の期限を延ばしたりする方法をとられますので御遠慮なく御相談ください。

できるだけ皆さま方のお力添えになりたいと思っております。



次のかたがたから、町の社会福祉協議会に寄附くださいました。厚くお礼申し上げます。

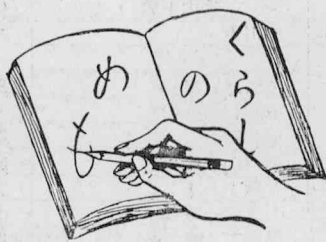
△拾得お礼の一部を恵まれた人にと

坂元百子 二千元

△貧しい人への助け合いで

小泉一郎 二千元 (神戸市で理美容室を営み、大根町神ノ浜一区出身) ▲香典返しにかえて 長谷シヅ 六反田 五千元 (夫勇造氏逝去にあたり)

戸籍に関する情報はホームページ上では掲載していません



類はビタミンやミネラルに富んだ食品です。

緑黄色野菜は、トリ目の予防のビタミンAを含み体の調子をよくし、またビタミンAは脂溶性ビタミンで油いためでやてんぷらにして油といっしょに食べると効果があがります。

淡色野菜・果物は、ビタミンCやミネラルを含み不足すると歯ぐきから出血したり肌あれなどをおこします。またビタミンCは水溶性ビタミンで水に溶け、出ますし火にも弱いので新鮮な生野菜を食べるようにしましょう。

生野菜を食べるとき、次の点に注意しましょう。

△必ず洗剤で洗うこと

△洗剤、に長くつけぬこと

△洗剤で洗ったら十分な水洗いを

△野菜を切って水につけたら

水も飲むこと

緑黄色野菜は、一日におとなで百グラムです。三寸人参が一本、またはピーマンを三個ぐらいです。

淡色野菜・果物は、一日におとなで三百グラムです。トマト三個バナナ二本ぐらいです。

野菜・果物からとるビタミンは食べためておくことができず、体で必要なだけ吸収すると残りは体外に出てしまいます。毎日、野菜・果物は食べなければなりません。不足すると体に害を与えるのに多すぎると体外に出てしまうビタミンはたいせつな栄養素です。

家の庭の片すみに菜園を作

って、ネギ一列・ピーマン一列・ニラ一列、ビタミン不足を解消しましょう。